



教高第1524号

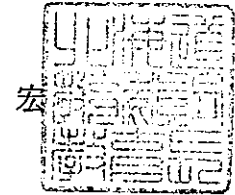
平成27年1月21日

北海道商工会連合会

会長 荒尾孝司様

北海道教育委員会教育長

立川



高校生インターンシップ推進事業について（依頼）

日頃から、高校生の進路指導につきまして、御理解、御協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、近年、高校生などの若年者については、働くことへの関心・意欲・態度、目的意識、責任感、意志等の未熟さやコミュニケーション能力、対人関係能力、基本的マナーなど、職業人としての基本的な能力の低下や職業意識・職業観の未熟さなどが、生徒と仕事のミスマッチや早期離職につながっている可能性があるとして指摘されており、こうしたことから、生徒の望ましい勤労観・職業観の育成を図る指導の充実が求められております。

このようなことを踏まえ、道教委といたしましては、平成14年度から「高校生インターンシップ推進事業」を実施しているところであり、平成25年度は、206校の全日制の道立高等学校において、約29,800名の生徒が、延べ約9,330事業所の協力を得て、企業見学を含めたインターンシップを行いました。これもひとえに、関係機関や団体等の御理解や御支援の賜と感謝申し上げます。

インターンシップについては、生徒が職業についての理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の向上を図ることができるなど、大きな成果を上げているところではありますが、一方で、学科間で取組に差が見られることや、実施日数についても体験した生徒の約6割が2日以内の実施にとどまっているなどの課題があります。

そのため、今後におきましても、各高等学校におけるインターンシップが地域の理解と協力を得て、一人でも多くの生徒が経験することができますよう、貴会会員企業における受け入れの拡大と受入日数の拡充について、特段の御配慮をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

（学校教育局高校教育課産業教育指導グループ）